

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 5月 31日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  
滋賀県長浜市東上坂町351-2

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)  
湖北精工株式会社  
代表取締役 小川孝史

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	湖北精工株式会社 代表取締役 小川孝史
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県長浜市東上坂町351-2

1 事業者の概要

事業所の名称	湖北精工株式会社 本社工場					
事業所の所在地	滋賀県長浜市東上坂町351-2					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	6	9	9	※ 産業分類・細分類名称を記載 他に分類されない生産用機械・同部品製造業
事業の概要	一般産業用機械の設計・製造・販売					
従業員の数	134	人	作業時間	10	時間/日	
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	0	照明設備 766 台
	コンプレッサ	7	台	空気調和設備	78	台 その他

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2023	年度	報告対象年度	2023	年度
	終了年度	2023	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

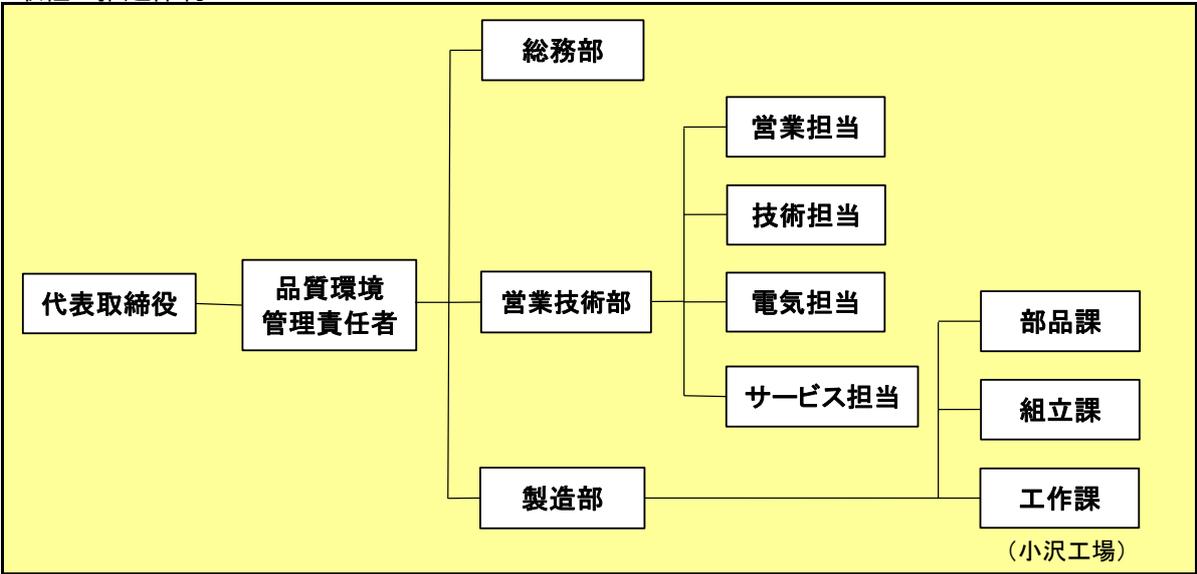
1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち湖北精工株式会社は以下に示す環境方針に基づき、低炭素社会づくりの推進に取り組んでまいります。

**【環境方針】**  
 「ものづくりを通して、環境にやさしい生産システムを構築していく」

1. 環境関連法規制、条例、協定及びその他の要求事項を遵守し、環境負荷の低減、環境汚染の防止に努めます。
2. 生産活動の全てにおいて資源、エネルギー等の節約とリサイクルに努めるとともに、環境に配慮した製品や設備の購入に努めます。
3. 環境教育、啓発活動を通じて全従業員に本方針を周知するとともに、社員の環境保全意識の向上を図ります。
4. 上記活動を通して環境マネジメント活動の継続的な改善に努め、地球の環境保護活動に積極的に貢献します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

- 【空調設備】**
- ・事務所空調(GHP)を省エネ効果の高いものに更新
  - ・工場用空調(EHP)を高効率空調に更新(D棟)
  - ・会議室空調の室内機・室外機の系統見直し、使用していない部屋の無駄稼働削減
  - ・空調設備の温度設定全社統一化
- 【照明設備】**
- ・事務所照明のLED化
  - ・工場照明のLED化(A、E、G棟)
  - ・昼休憩時間の全消灯
  - ・工場照明スイッチの細分化、事務所照明プルスイッチの設置によるピンポイント消灯
- 【工場建屋】**
- ・事務棟屋根上に太陽光発電を設置
  - ・工場屋根の高断熱化
  - ・一部の窓に遮熱フィルム貼付け

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	照明設備 LED照明器具に更新	R5～	継続実施中 高天井用68台更新
2	設備導入	空調設備 高効率空調設備に更新	R5～	継続実施中 事務所用GHP1台更
3	設備導入	エンジン式フォークリフトをバッテリー式に更新	R5～	継続実施中
4	運用改善	電気使用量の社内「見える化」による省エネ意識の向上	R5～	継続実施中 電気使用量監視装置導
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記(1)の取組み等により、前年比1%以上の改善を図ることを目標とする。なお、当社が完全受注生産方式であることから、分母には「売上金額」を設定する。</p> $\text{原単位} = \frac{\text{温室効果ガス排出量}}{\text{売上金額}} \quad \blacktriangleright \quad 1\% \text{以上の削減}$	<p>上記取組により、工場設備におけるエネルギー使用量の削減にはつながったが、工場稼働率の大幅な向上のため、改善に繋がらなかった。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		(2023)年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
原油換算エネルギー使用量	kL	292	374			
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	473	672			
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	473	672			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>					
HFCs	t-CO <sub>2</sub>					
PFCs	t-CO <sub>2</sub>					
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
エネルギー等原単位の推移		0.140	0.142			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。